

## 感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 12 週（3 月 18 日～3 月 24 日）

## ＜全数把握対象疾患の患者情報＞

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症 レジオネラ症	3 人 病型 肺炎型 3 人
五類感染症 アメーバ赤痢	1 人 病型 腸管アメーバ症
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 人 血清群 B 群 1 人、G 群 1 人
後天性免疫不全症候群	2 人 病型 無症状病原体保有者 2 人
侵襲性肺炎球菌感染症	2 人
梅毒	4 人 病型 早期顕症Ⅰ期 3 人、 早期顕症Ⅱ期 1 人
播種性クリプトコックス症	1 人
風しん	1 人 病型 検査診断例

## ＜新型コロナウイルス感染症発生状況＞

新型コロナウイルス感染症(6.26→5.80:図1)の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに減少した。保健所別では、幸手(8.93)、草加(8.63)、鴻巣(8.42)、狭山(8.12)保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は60人(前週41人)であった。年齢階級別では、70歳以上が全体の約73%であった。

## ＜定点把握対象疾患の患者情報＞

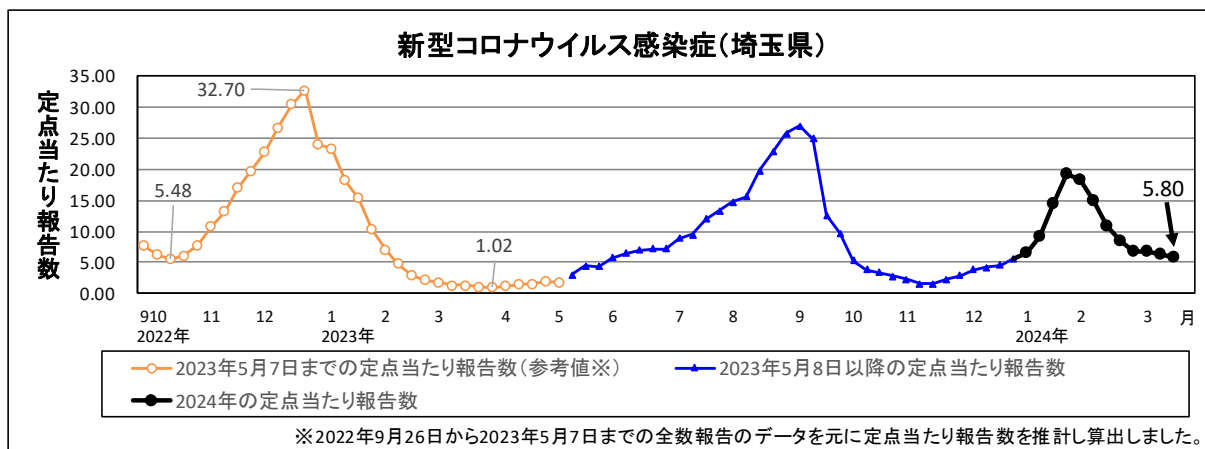
インフルエンザ(22.21→17.51:図2-1~4)の定点当たり報告数は、前週と比較して減少したものの、依然として多い状況が続いている。保健所別では、鴻巣(28.42)、春日部(27.40)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、6~9歳の報告が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(5.06→4.17:図3-1~2)の定点当たり報告数は、前週と比較して減少したものの、高い水準にある。保健所別では、春日部(9.67)、幸手(9.22)、南部(8.80)保健所管内からの報告が引き続き多い。RSウイルス感染症(0.45→0.63:図4)の定点当たり報告数は、前週に引き続き増加し、過去4年の同時期と比較しても多い状況にある。保健所別では、南部(3.20)、幸手(2.33)保健所管内で多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎3人、流行性角結膜炎16人の報告があった。基幹定点報告疾患では、感染性胃腸炎(ロタウイルス)1人、インフルエンザ(入院)(図2-4)7人(前週9人)の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL:<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧いただけます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第12週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<インフルエンザ流行情報（第12週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図2-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

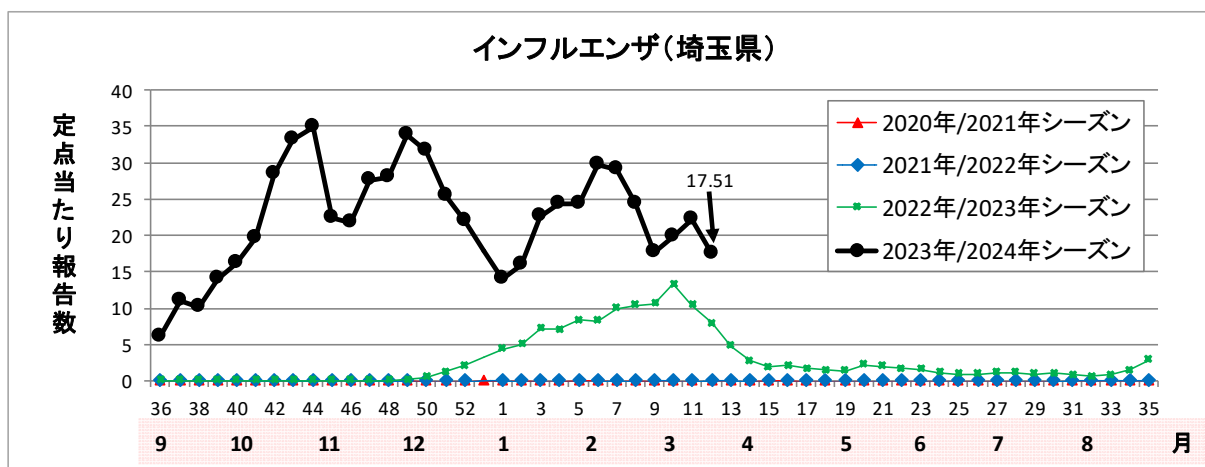


図2-2 インフルエンザの保健所別流行状況の推移（2024年第10週～第12週）

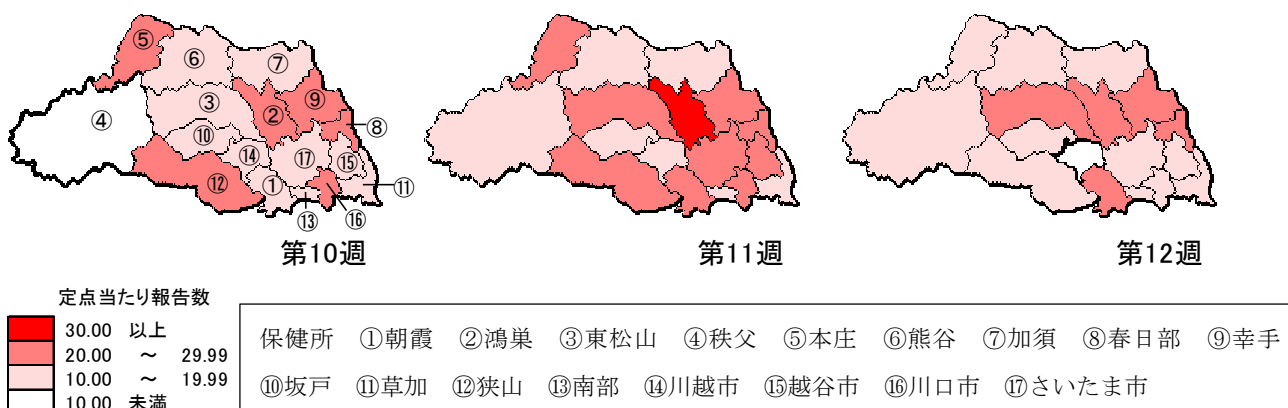
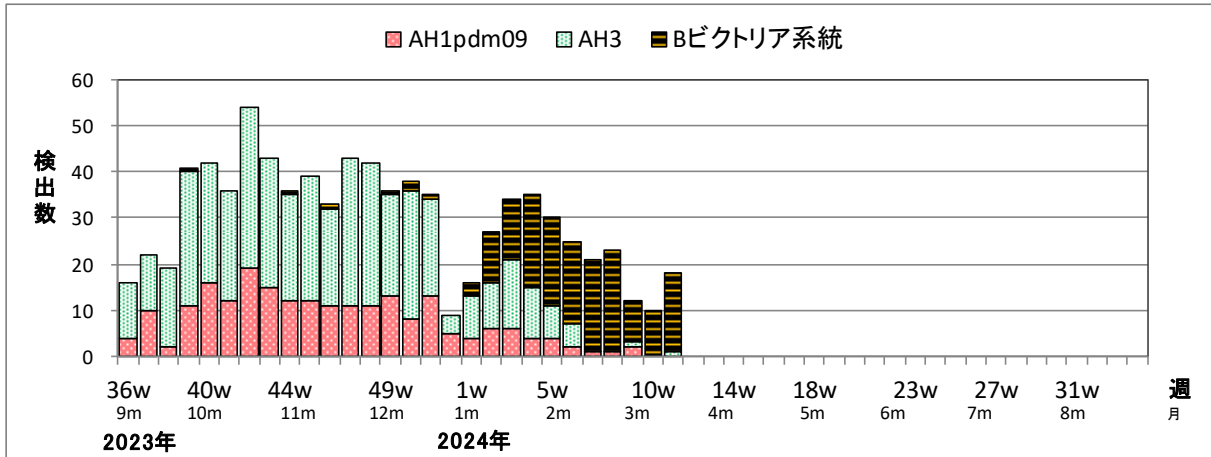


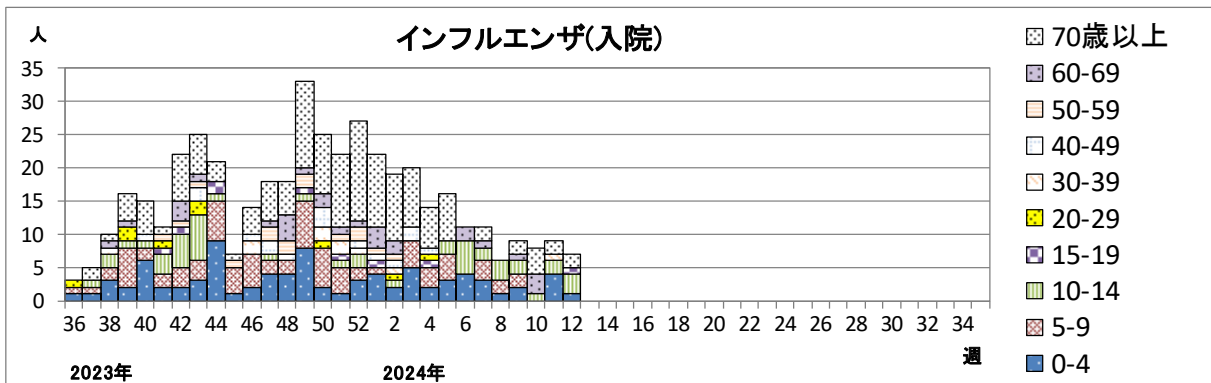
図 2-3 インフルエンザウイルスの週別検出状況



2024年第9週～第11週（2024年2月26日～3月17日）の3週間に採取されたインフルエンザ検体のうちウイルスの型別の終了した40検体は、B型（ビクトリア系統）36件（90.0%）、AH1pdm09型が2件（5.0%）、AH3型が2件（5.0%）でした。

詳細なウイルスの検出状況は、<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html> をご覧ください。

図 2-4 インフルエンザ（入院）の年齢階級別報告数



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図 3-1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

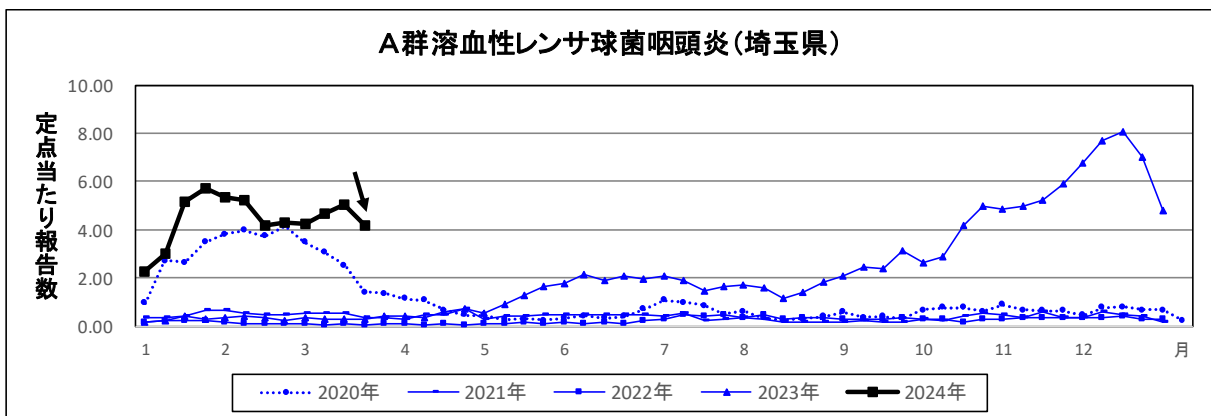


図 3-2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の保健所別流行状況の推移 (2024年第10週～第12週)

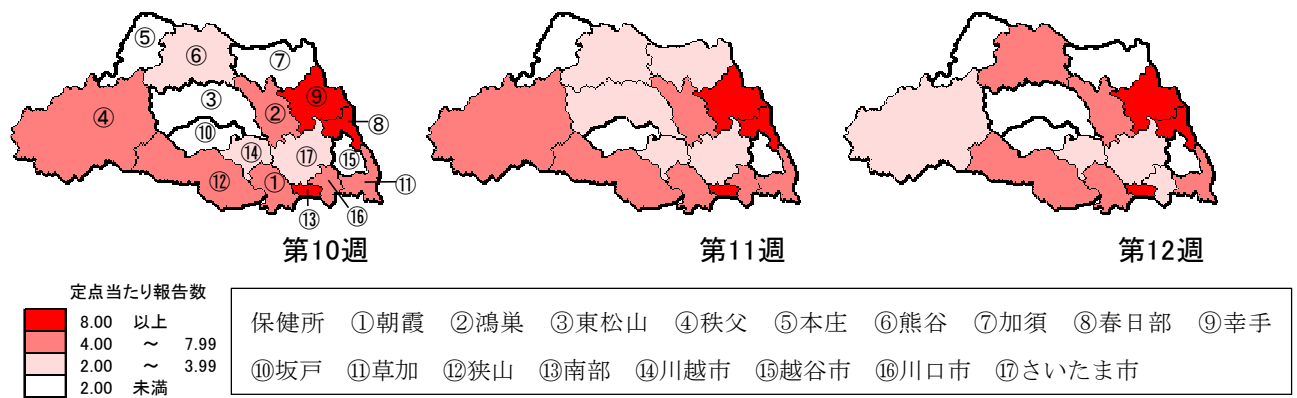
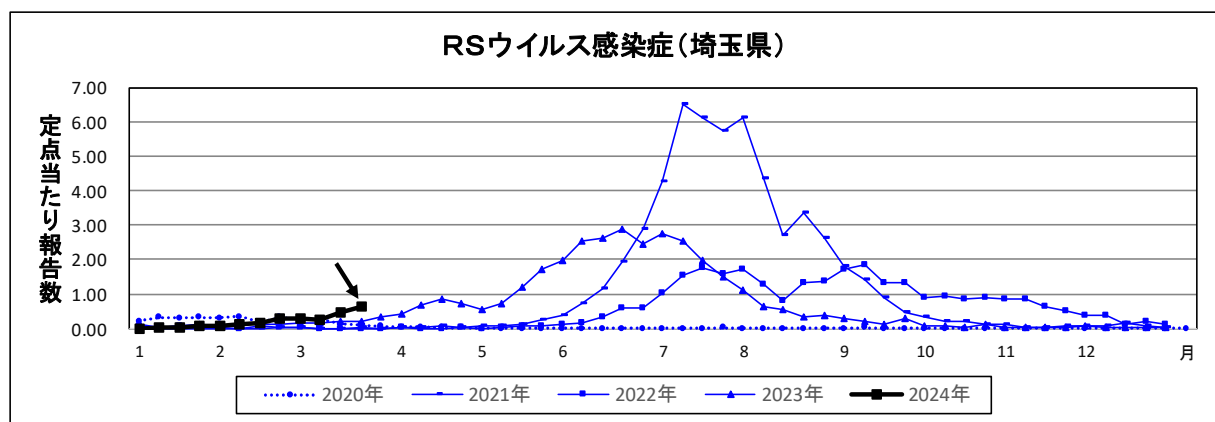


図 4 RS ウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第12週)

(2024年3月26日 15:15集計)

	今週 届出	累 計	2023年 累計		今週 届出	累 計	2023年 累計
<b>一類感染症</b>							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
<b>二類感染症</b>							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*1	-	-		鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
<b>三類感染症</b>							
コレラ				腸チフス			3
細菌性赤痢			9	パラチフス			1
腸管出血性大腸菌感染症		24	167				
<b>四類感染症</b>							
E型肝炎		10	43	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎		2	3	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱		1	
エムポックス			5	日本脳炎			
黄熱				ハンタウイルス肺症候群			
オウム病			1	Bウイルス病			
オムスク出血熱				鼻疽			
回帰熱				ブルセラ症			
キャサヌル森林病				ベネズエラウマ脳炎			
Q熱				ヘンドラウイルス感染症			
狂犬病				発しんチフス			
コクシジオイデス症				ポツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			2
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			1
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症	3	18	112
つつが虫病			3	レプトスピラ症			
デング熱		2	9	ロッキー山紅斑熱			
<b>五類感染症</b>							
アメーバ赤痢	1	7	28	侵襲性肺炎球菌感染症	2	21	80
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		3	7	水痘(入院例に限る)			13
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		18	71	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			6	梅毒	4	95	462
急性脳炎		9	39	播種性クリプトコックス症	1	2	7
クリプトスポリジウム症				破傷風		1	4
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	8	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	42	64	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			2
後天性免疫不全症候群	2	6	32	百日咳		11	79
ジアルジア症			3	風しん	1	1	1
侵襲性インフルエンザ*菌感染症		4	9	麻しん			
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症			1

累計は診断日で集計

\*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第12週

3月18日～3月24日)

保 健 所	インフルエンザ #1	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
全 県	4,569	1,515	104	78	684	693	40	8	7	28	2	9	3	16	-	-	-	-	1	7	60
	17.51	5.80	0.63	0.48	4.17	4.23	0.24	0.05	0.04	0.17	0.01	0.05	0.07	0.38	-	-	-	-	0.08	0.58	5.00
朝 霞	488	134	3	2	88	68	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	3
	21.22	5.83	0.20	0.13	5.87	4.53	0.20	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	2.00	3.00
鴻 巣	540	160	14	4	62	36	1	-	-	2	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	28.42	8.42	1.17	0.33	5.17	3.00	0.08	-	-	0.17	-	0.08	-	-	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	175	57	1	1	5	32	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	21.88	7.13	0.20	0.20	1.00	6.40	-	-	0.40	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秩 父	68	27	-	3	11	3	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
	13.60	5.40	-	1.00	3.67	1.00	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	99	44	1	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
	14.14	6.29	0.25	-	0.75	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17.00
熊 谷	181	70	2	6	32	23	1	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4
	13.92	5.38	0.25	0.75	4.00	2.88	0.13	0.75	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	4.00
加 須	143	40	5	-	9	6	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3
	14.30	4.00	0.83	-	1.50	1.00	-	-	-	0.17	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	3.00
春 日 部	274	60	2	5	58	49	2	-	-	1	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	27.40	6.00	0.33	0.83	9.67	8.17	0.33	-	-	0.17	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	344	125	21	30	83	19	11	-	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	24.57	8.93	2.33	3.33	9.22	2.11	1.22	-	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	140	60	2	1	10	14	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7
	14.00	6.00	0.33	0.17	1.67	2.33	-	-	-	0.17	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	7.00
草 加	313	164	1	1	58	76	2	-	2	-	1	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	16.47	8.63	0.08	0.08	4.83	6.33	0.17	-	0.17	-	0.08	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	465	203	4	10	67	26	5	1	-	7	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	18.60	8.12	0.25	0.63	4.19	1.63	0.31	0.06	-	0.44	-	0.06	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
南 部	148	40	16	8	44	55	1	-	1	5	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	5
	18.50	5.00	3.20	1.60	8.80	11.00	0.20	-	0.20	1.00	-	0.20	-	-	-	-	-	-	1.00	-	5.00
川 越 市	93	58	-	-	24	16	-	-	-	2	1	2	1	2	*	*	*	*	*	*	*
	6.64	4.14	-	-	3.00	2.00	-	-	-	0.25	0.13	0.25	0.50	1.00	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	173	68	1	-	10	36	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3
	13.31	5.23	0.13	-	1.25	4.50	0.38	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00	3.00
川 口 市	320	80	19	-	46	99	4	-	1	-	-	2	-	7	-	-	-	-	-	2	8
	16.00	4.00	1.46	-	3.54	7.62	0.31	-	0.08	-	-	0.15	-	1.75	-	-	-	-	-	2.00	8.00
さいたま市	605	125	12	7	74	135	3	1	1	6	-	1	1	4	-	-	-	-	-	-	10
	14.07	2.91	0.43	0.25	2.64	4.82	0.11	0.04	0.04	0.21	-	0.04	0.11	0.44	-	-	-	-	-	-	10.00

( - : 0.00 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

3月

26日

15:00 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第12週

3月18日～3月24日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	4,569	7	29	81	86	114	195	236	331	330	362	380	1,392	393	165	238	151	49	15	6	9
新型コロナウイルス感染症	1,515	14	25	45	26	30	20	22	27	15	22	20	111	98	171	159	156	212	107	109	126
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	104	11	9	40	17	12	3	7	2	3	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	78	-	1	1	7	13	20	3	10	9	6	4	2	-	2						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	684	1	6	15	36	49	73	79	83	69	58	60	118	9	28						
感染性胃腸炎	693	6	23	65	56	66	70	57	45	56	59	33	81	9	67						
水痘	40	-	1	4	1	1	3	4	2	7	5	6	6	-	-						
手足口病	8	-	-	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	7	-	1	-	1	-	1	-	-	1	-	1	2	-	-						
突発性発しん	28	1	9	16	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	9	-	-	-	-	-	1	3	2	-	2	-	1	-	-						
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-
流行性角結膜炎	16	-	1	-	-	-	2	-	-	2	-	-	1	-	2	5	1	1	-	-	1
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタウイルス感染症	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(入院)	7	-	1	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
新型コロナウイルス感染症(入院)	60	3	2	1	-	-	-	1	-	2	-	-	2	1	2	2	2	44			

※ 表中の数値は各定点からの報告数( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く



# 全国・関東情報

第10週 (3月4日～3月10日)

令和6年3月27日

## <全国情報>

**インフルエンザ/ COVID-19 定点報告疾患:** インフルエンザの定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は石川県(37.10)、北海道(35.01)、新潟県(31.79)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は306例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(18例)、1～9歳(148例)、10代(53例)、20代(7例)、30代(12例)、40代(6例)、50代(3例)、60代(17例)、70代(11例)、80歳以上(31例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮城県(12.10)、新潟県(11.94)、山形県(11.16)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は2,290例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(61例)、1～9歳(88例)、10代(21例)、20代(29例)、30代(47例)、40代(52例)、50代(115例)、60代(239例)、70代(540例)、80歳以上(1,098例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの):** RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第2週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は大阪府(1.55)、奈良県(1.18)、北海道(0.94)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(3.73)、新潟県(3.53)、富山県(2.93)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(10.17)、北海道(10.17)、鳥取県(8.84)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は富山県(12.00)、愛媛県(11.14)、大分県(10.86)である。手足口病の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福井県(1.08)、徳島県(1.04)、鹿児島県(0.75)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位2位は東京都(0.06)、沖縄県(0.06)、群馬県(0.04)、神奈川県(0.04)、新潟県(0.04)、山梨県(0.04)、長野県(0.04)、静岡県(0.04)、香川県(0.04)、高知県(0.04)、福岡県(0.04)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は島根県(0.17)、徳島県(0.17)、愛媛県(0.14)、鹿児島県(0.10)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位2位は栃木県(0.08)、大分県(0.08)、石川県(0.07)である。

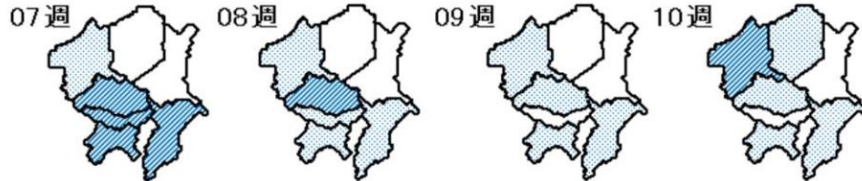
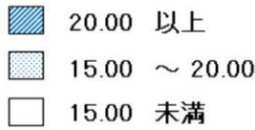
**基幹定点報告疾患:** マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位2位は福井県(1.17)、青森県(0.50)、奈良県(0.50)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で増加した。5都道府県から6例報告があり、年齢別では1～4歳(2例)、5～9歳(2例)、10代(1例)、50代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第10週(3月4日～3月10日): 通巻第26巻 第10号 より

## <関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、群馬県(22.42)からの報告が多い。

### インフルエンザ



2024年 10週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	79,643	25,408	1,530	1,144	1,883	5,150	3,833	5,588	6,280
	定点当たり	16.14	16.66	12.75	15.05	22.42	19.73	18.98	13.43	17.16
新型コロナウイルス感染症	報告数	32,236	9,019	1,012	556	603	1,741	1,534	1,767	1,806
	定点当たり	6.53	5.91	8.43	7.32	7.18	6.67	7.59	4.25	4.93
RSウイルス感染症	報告数	1,171	265	25	33	37	40	19	65	46
	定点当たり	0.37	0.28	0.33	0.69	0.70	0.24	0.15	0.25	0.20
咽頭結膜熱	報告数	2,747	392	41	24	38	72	64	61	92
	定点当たり	0.88	0.41	0.55	0.50	0.72	0.44	0.51	0.23	0.40
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	13,808	3,871	388	153	214	771	717	879	749
	定点当たり	4.41	4.04	5.17	3.19	4.04	4.70	5.74	3.35	3.26
感染性胃腸炎	報告数	17,577	4,771	340	131	277	955	761	1,408	899
	定点当たり	5.61	4.99	4.53	2.73	5.23	5.82	6.09	5.37	3.91
水痘	報告数	428	156	4	4	3	40	14	57	34
	定点当たり	0.14	0.16	0.05	0.08	0.06	0.24	0.11	0.22	0.15
手足口病	報告数	545	43	3	4	22	5	1	1	7
	定点当たり	0.17	0.04	0.04	0.08	0.42	0.03	0.01	0.00	0.03
伝染性紅斑	報告数	68	31	1	-	2	1	1	16	10
	定点当たり	0.02	0.03	0.01	-	0.04	0.01	0.01	0.06	0.04
突発性発しん	報告数	634	188	5	12	11	29	33	58	40
	定点当たり	0.20	0.20	0.07	0.25	0.21	0.18	0.26	0.22	0.17
ヘルパンギーナ	報告数	80	17	4	1	2	1	1	3	5
	定点当たり	0.03	0.02	0.05	0.02	0.04	0.01	0.01	0.01	0.02
流行性耳下腺炎	報告数	78	31	2	4	1	4	1	12	7
	定点当たり	0.02	0.03	0.03	0.08	0.02	0.02	0.01	0.05	0.03
急性出血性結膜炎	報告数	12	3	-	-	-	1	1	-	1
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	0.02	0.03	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	297	109	20	4	5	14	6	10	50
	定点当たり	0.43	0.52	1.18	0.33	0.36	0.33	0.18	0.26	0.98
細菌性髄膜炎 #2	報告数	9	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	11	2	1	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.02	0.02	0.08	-	-	-	-	-	0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数	56	7	1	3	-	2	-	-	1
	定点当たり	0.12	0.08	0.08	0.43	-	0.17	-	-	0.08
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	6	2	-	-	-	1	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	0.08	-	0.04	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)



- 感染症発生動向調査 2024年**
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第1週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年第2週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年第3週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年第4週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年第5週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年第6週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年第7週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年第8週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年第9週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年第10週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年第11週](#)

## 感染症の流行状況 2024年 第12週

2024年第12週（3月18日～3月24日）の要点

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、前週と比較して減少したものの、多い状況が続いています。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



### 感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↓	★★	<a href="#">手足口病</a>	→	★
<a href="#">新型コロナウイルス感染症</a>	→	—	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	↑	★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	→	★★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↓	★★★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↓	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン